

学校は、今…

SCHOOL REPORT ⑨
地域に支えられた
教育へ

市内の学校では、地域の環境や文化を生かし、地域の方々の協力を得て、特色ある教育活動を行っています。今回は、地域と連携した取り組みをご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

地域のすばらしさを味わう (童浦小学校)

平成20年度で11回目を迎えた『笠山だでのんまつり』。11月15日の午前中は、童浦小学校で地域の方を講師に、子どもたちは11種の体験講座に取り組みました。「お手玉」「おはじき」「けん玉」など昔の遊び体験や「凧作り」「しめ縄作り」「勾玉作り」など多彩な内容でした。午後は笠山で「だでのんギネス」や「野点」に取り組みました。

まつり会場では、地域の方々に用意していただいた豚汁やだんご、焼き芋などが振る舞われ、うれしそうな子どもたちの笑顔があふれました。子どもたちからは「地域やPTAの方々のおかげで、とても楽しい一日を過ごすことができました。中学生になっても、絶対に『笠山だでのんまつり』のことは忘れません」などの感想が寄せられ、楽しかった様子が伝わってきました。

▶だでのんギネスの種目には、大声大会、こま回し、紙飛行機とぼしなどがあります



▶体験講座「凧作り」



▶だでのんギネス「大声大会」

地域の子どもは地域で守ろう! (衣笠小学校)

衣笠小学校区では、2年前から「子ども見守り運動」が始まりました。『地域の子どもは地域で守ろう』と、老人会のメンバーが主体となって「子ども見守り隊」が結成されました。現在では、64名のメンバーが、毎朝の登校や低・中学年の下校に付き添うなどの活動を行っています。見守り隊の方々がおそろいのベストを着て付き添うため、不審者が近寄りにくいようです。実際に、見守り隊の方が付き添っているときには不審者は出ておらず、子どもたちは毎日安全に登下校しています。

また見守り隊の方からは、「子どもたちと気軽にあいさつできるようになった」「子どもたちと一緒に歩くことで、体も心も元気になった」という声をいただいています。この活動を通して、子どもたちと老人会の方々とのふれあいも深まっているそうです。



▶見守り隊の皆さんと一緒に下校